

国語科より

【受験生 国語（東大国語・難関国語・私大国語）】

1. ご用意いただくものと配付するもの

① 予め用意して **Gnoble** の授業に持参すべきもの

□辞書(電子辞書やスマートフォンのアプリ・サイトでも可)

解説の補助として国語辞典・古語辞典などを参照できると便利です。古文・漢文のタームでは日常的に使用している古文単語帳や漢文の教材などがあれば、持参しましょう。

② 授業内では使用しないが、ご用意いただきたいもの

□古文・漢文の基礎レベルの読解問題集(特にGターム)

授業内では、難しめの問題、解くのに工夫が必要な問題を中心に扱います。それを復習することはもちろんですが、日常的な学習に使用するため、易しめの読解問題集も用意し、演習経験を積みましょう(具体的な教材名等は授業内外で担当よりお伝えします)。

□「赤本」「青本」などの過去問演習用教材(特に夏からEターム)

夏休み以降、志望校の過去問演習を行うよう学習指示を出します。急ぐ必要はありませんが、最新年度の入試問題まで反映されたものが発売され次第、購入しておきましょう。

③ **Gnoble** の授業内で配付されるもの

□通常授業テキスト:小ターム毎の配付です。G1-1・E1-1 のみ当日配付、それ以外は前ターム最終回にて配付します(選択受講している生徒には、受講ターム開始前週に郵送しています)。

□お帰り問題(知識確認)解答:毎週、テキスト巻末の知識確認問題を実施します。

□現代語訳:古文・漢文のタームでは、毎週(私大・難関)、最終週(東大)、訳を配付します。

□季節講習テキスト:講習初日に配付します。

2. 授業の進み方と日々の取り組み

① 授業の進み方

小ターム毎に重点分野を決め、選りすぐりの過去問の演習・解説を行います。(季節講習は総合お帰り問題として、古漢の知識確認(私大国語は、それに加えて漢字の読み書き)を実施します。

	東大国語	難関国語	私大国語
G1/E1 ターム	現代文(二次・セ) (シター)	現代文(二次(要約含) (む)・センター)	現代文(私大入試・) (センター)
G2/E2 ターム	古文(二次・セ) (シター)	古文・漢文(二) (次)	古文(古漢融合含む、私 (大入試・センター)
G3/E3 ターム	現代文(二次・セ) (シター)	現代文(二次(近代文 (語文含む))	現代文(私大入試・) (センター)
G4/E4 ターム	漢文(二次・セ) (シター)	古文・漢文(セン (ター))	漢文(古漢融合・近代文語文含 (む、私大入試・センター)

※通年受講を推奨しますが、自身の学習状況や志望大の出題分野、学校行事に応じた選択受講も認めています。

※一橋大学を志望する生徒で、併願する私立大学の対策も希望している場合はG1 難関・G2 私大・G3 難関・G4 私大のように受講してください。

東大国語・難関国語では、実施した記述演習について、担当者が直接添削を行っています。添削を受けた答案はよく復習してください。また、人の目に触れることを意識し、真剣に演習する

こと自体も成長の機会です。宿題に集中して取り組む時間を確保しましょう。

選択式が中心の「私大国語」では、添削課題の代わりに毎週、点数報告・振り返りを提出します。疑問や相談を気軽に担当に伝えられるようになっていきますので、ぜひご活用ください。

②日々の取り組み

A・授業の予復習

毎授業、事前に解く問題が指定されます(大問 1~2 題、所要時間 30~60 分程度)ので、必ず実施した上で授業に臨みましょう。授業後は、「語彙の書き出し」「間違えた問題の解法整理」「現代文の本文要約」「古文の難解な箇所訳作成」「漢文の音読」などを通じて、授業での学びを定着させましょう。長期休みにはそれ以前に学んだものをもう一度振り返りましょう。

B・基礎知識の確認

模擬試験を目安に、古文や漢文の単語等の知識を一通り見直すようにしましょう。

C・過去問演習

大学・学部ごとに出题形式・傾向の大きく異なる国語では、過去問での演習が重要です(残念ながら、予想問題集は出題を十分に模しているとは評し難く、過去問そのものでの練習を推奨します)。それぞれの学習状況に合わせ、開始時期や頻度などを指示します。東大・難関国語では、直前期、メール・FAX等も活用した添削制度を運用しています。

東大国語 1年間の過ごし方			
時期	東大国語	個人の国語の勉強・取り組み	模試
基本の心構え <ul style="list-style-type: none"> 東大志望を守るのが最優先。差がつくのは英数理社。勉強バランスに注意せよ。 通常授業の受講(全受講、ターム選択受講、受講せず)は戦略的に。 「授業でやること」と「自分で勉強すること」の役割分担を意識する 模試受験も問題集も過去問演習も、量より理解度・定着度が重要。復習せよ。 			
春休み	春期講習 (現古漢総合)	古文漢文の基礎(単語・文法)完成 <small>漢文知識が怪しい人は今のうちに!</small> ◆負担軽減 ・「予復習」漢文の復習 → 学校の国語授業・国語の漢文の句形・単語の真をコピーして覚える ・新・漢文の基本ノート → 旬別演習自習書 ・トレーニングノート → 基本漢文句法 受験研究社 ・学習記録簿10日分 国語 漢文 2巻 ◆負担重め(入室テスト前には夏前を控って行い、その後は辞書がわりに活用せよ) ・漢文ヤマのヤマ → 明徳漢文、漢文必携(よく学校で読まれる漢文の基本書)	<small>(学校・出題で受験する漢文の範囲は、習っていない書けば以下を参考に個人で申し込む。習っている方、ペースメーカーとして勉強することが重要)</small>
3/31 4/1	入室テスト (古文漢文の基礎)		
4月	G1 現代文	古文・漢文の問題演習(易しめで良い) <small>問題集の例(書店で自分で選ぼう、夏休みの終わりまでに古漢1~2冊進めたい。学校が演習形式であれば、それをしっかり予習・復習するのでも良い)</small> マーク式基礎問題集 古文 河合塾(センターよりやや難) 古文上達 基礎編 読解と漢文45 2巻 トレーニングノート 古文 受験研究社 読解力養成問題集 古文 国語の勉強法を学ぼう! 1つ読む教材	5月5日 全統マーク模試 5月12日 全統記述模試 <small>(英語学習がほぼ仕上げ上がっている限りはわざわざ難化全国模試はイレバレル)</small> 河合プライムステップなどを受ける必要はない)
5月	G2 古文		
6月	G3 現代文		7月28日 全統マーク模試 <small>(1学期の総決算、駿台もほぼ同時期にあり)</small> 8月3・4日 河合東大オープン 8月8・9日 駿台東大実戦 <small>(できるだけ両方受ける)</small>
7月	G4 漢文		8月25日 全統記述模試 <small>(春休みの総決算、理社の基礎完成チェック)</small>
8月	夏期講習 (現古漢総合)	① 苦手分野の克服 ② Gタームの復習 ③ 東大模試の復習 ④ 過去問1年分 <small>※受講前には2013年推奨</small>	
9月	E1 現代文	(余力があれば)過去問演習 <small>※他教科や東大国語授業の予復習が優先</small> <small>※2014~2020年の問題集は基本的にセンター試験後実施用にとっておく。教材が不足する場合は、予備校の東大模試過去問問題集を使用する。</small> <small>※2001年~12年の問題集を中心に、大問単位で演習する(1年分まとめてもよいが、試験時間が足りなくなる教材ではないので、問題集がわりに1題1題演習する形で構わない)</small> <small>※現役志望の強い生徒は、私大過去問も問題集的に使用すると良い。</small>	10月13日 全統記述模試 <small>(志望校を選んでいる方は、志望校決定の最終材料)</small>
10月	E2 古文		
11月	E3 現代文		11月2・3日 河合東大オープン 11月14・15日 駿台東大実戦 <small>(土曜で受験準備する生徒は併習・E3セットを同時的)</small>
12月	E4 漢文		11月24日 全統センタープレ <small>(これ以降は、東大1月1日のセンタープレを受ける)</small>
12月中下旬 1月上旬	冬期講習 (現古漢総合)	国語に関しては、この時期はとにかく共通テスト(センター)演習! <small>※ここで過去問を80分1セットでやるために解かずにとっておく!</small> <small>※学校で解いてしまっている場合『共通テスト実戦問題バックV』(駿台)などを学校経由で購入できるなら買しましょう。市販問題集だけでは演習教材が足りなくなる可能性があります</small>	
1月16~17日		共通テスト→出願校確定	
1月下旬	直前講習	併願私大過去問演習、東大過去問演習、過去の教材復習 <small>※2014~2020年の過去問をやる範囲で実施する一添削制度あり</small> <small>※後期国立大を併願する場合も、対策は前期試験終了後からOK</small>	
2月		私大入試・国立本願	

(参考)

東大国語で春期講習に配付した学習アドバイス資料

それぞれの時期に何をすべきか、授業内でクラス全体にお示しします。一方で、個別の事情もあるかと思えますので、遠慮なく担当にお声がけください。